

# 本を選ぶ

NO.489 2026年(令和8年)2月20日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

<https://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>椅子はおもしろい 続

●選書の法則：S. R. ランガナタンからの  
187のメッセージ(32)



●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

## 椅子はおもしろい 続

毎朝飛んで来て先ずは庭の決まった枝に止まる鳥たちにも何かしらの決まりがあるのか。その様子を見てみると、どうやらあるようだ。ここは自分の指定席だ、などと。

椅子または席という言葉がもつ比喩的な意味や象徴性は、「皇帝の座」「王様の椅子」「社長の椅子」とか「お父さんの椅子」などの地位や権力、存在を示す場合に、座る家具としての椅子自体というよりは、その椅子を占める人物を想起させる。

『ウォールデン 森の生活』はウォールデン湖のほとりで森の中の自給自足生活を始めた小説家H・ソローの体験記。彼が「孤独の椅子」「友情の椅子」「社交の椅子」について語る部分を引用しながらこの3つの「椅子」について、自分と椅子との関係を「一者関係」、自分と友人との間の「二者関係」、椅子を媒介とした自分と社会一般との人間関係である「三者関係」を指すという分析が成立すると社会経済学者の坂井素思は示唆している。『椅子クラフトはなぜ生き残るのか』(左右社/四六判/2020年)

椅子と言えば、一人掛けというのが一般的なイメージだがそうとは限らないし、個人用ばかりでもない。ベンチやソファ、つまり長椅子もある。

公園や駅前広場の中に固定された都市家具もあればその他の公共施設や各種施設・店舗の中にも広く設置され、駅構内などの公共交通機関に当たり前のようにある。

特殊ではあるが曲泉きょくせんという中国の禅宗がもたらした折り畳み椅子が大きなお寺にはある。鎌倉時代から室町時代にかけて高僧たちが法要などで用いたといわれる。以後、他の宗派でも使われてきた。曲泉きょくせんはデンマークの家具デザイナー、ハンス・ウェグナーの<チャイニーズ・チェア><ザ・チェア><Yチェア>のデザインに少なからず影響を与えたとも伝わる。

日系アメリカ人の建築家・木工家ジョージ・ナカシマ(1905~1990年)の<コノイドベンチ>は名作<コノイドチェア>の長椅子版で、一枚板のローズウッド無垢材で制作された見事なベンチだ。座ってみたいというよりは眺めていたい椅子かもしれない。

畳敷きの部屋にちゃぶ台や座卓の時代だった戦後まもなくの頃でも、現代のように椅子という家具が一般家庭に浸透している訳ではなかった。大正時代には、国が号令を掛けた「生活改善運動」で「住宅は漸次椅子式に改めること」と提唱されていたが、庶民には普及してこなかったのだ。

木工芸分野では初の人間国宝である黒田辰秋が制作した<拭漆檜彫家花紋椅子>は、映画監督の黒沢明が箱根の山荘のために注文した別名<王様の椅子>として知られるが、なにしろ重厚で動かすのに難儀するほどの重量で有名だ。(埜村太郎)

# 選書の法則：

## S. R. ランガナタンからの 187 のメッセージ (32)

吉植 庄栄

### 3.2. 親父殿の帰幽

五法則の内戦も前回で大団円を迎えたので、恒例のエッセイである。

当連載の23号：オレのランガナタン没後50周年(本誌『本を選ぶ』No. 457(令和5年(2023年)6月20日), p. 2-5)にて、危うく親父殿の追悼文を書くところだったと書いたが、今度は本当に追悼文である。あの時は現代医療の高度さとリハビリの努力で、親父殿はすっかり回復した。しかし3年経った令和7(2025)年11月末、90歳まであと1か月という切りの良い89歳と11か月びつたりで親父殿は帰幽された。我が家は神道なので、亡くなることを帰幽と言うようだ。親父にも教わらなかったが、今回知った。思う所は色々あるので、差し支えない範囲で所感を書き、親父殿の追悼とした。お付き合いしても良いという方はゆっくりして行って欲しい。

#### 1. 親父殿の来し方とその時代

親父殿は、昭和10(1935)年生まれ、東京の中野で育った。学徒動員世代よりは下で、いわば軍国少年世代と言うべきであろうか。小学生の時に敗戦を経験し、大日本帝国が日本国になった。アジアの覇者から焼く野原に転じるのを物心つくころに直面したのである。親父殿はこの時代には珍しく祖父が50歳、祖母が40歳という高齢出産で産まれた。一番上の伯父とは18歳も違う、この祖父が戦前・戦中の我が国ではやんごとなきご身分であり、終戦と同時に地に落ちた。それも拍車を駆けて大変複雑なメンタリティを持つこととなった。

戦後、家が窮乏したため大学進学を断念させられ、その後テレビの機械工の学校に行ったり、一転、農家である本家の養子になることを見越して農大に行かされたりした。しかしこれら全て続かず逃げ続け、家で引きこもりをやっていたようである。息子を50数年やってみて思うのは、親父殿は今であれば発達障害に当たると思う。当時その

ような診断が無いので、頭がおかしいと認定され、複数年精神病院に入れられたこともあったそうだ。その結果、祖父の逝去が入院期間中であったため、死に目には会えなかった。

転機が訪れたのは、昭和39(1964)年の東京オリンピックである。環状7号線、いわゆるオリンピック道路の建設によって、中野の吉植家は屋敷の大半が道路の下敷きとなり、それで得た補償金で親父殿は10年遅れてとある私立の工学部の単科大学に入学した。もともと1つのことに集中するのは得意なので、学年中優秀な成績をおさめて卒業した。

その後、当時は中途採用する会社が僅少の中、親族が進めるがままとある電機会社に勤務してやっとなり30代にして社会人となった。当時としては珍しく社長が寛大な人で、色々失敗した人も受け入れる会社であつたらしい。その後、これまた親族が進めるまま東北出身の筆者の母と見合いして結婚し、筆者が生まれる。全て人生の諸事は自分で決めることができず、親兄姉嫁に決めてもらう人生が最後まで続く。

そのような訳で普通の社会人になったように見えるが、ここからまた一筋縄では行かない。やはり発達障害だったのだと思うが、臨機応変に諸事に当たれず、自らが何か決断して物事を行うことが決定的にできないため、人員整理の危機はなんとか乗り切ったものの、結局60歳の定年まで平社員のままであった。日本の景気が良かったこともあり、何とか27年勤務し、それなりに良い金額の給与と退職金は支給されたのだと思う。

そして結果から言うとこの定年退職から亡くなる89歳まで、一切仕事をしなかった。日本の高度経済成長期とバブル期に生きたことで、頑張っただけならそれなりの待遇で生活でき、年金も60歳から十分に受給できたのである。丁度失われた30年にほぼ一致するが、筆者が歯を食いしばって泥水

をすすっている間、何の不自由もなく好きに生きていた。

特に酷かったのが60歳からの10年間である。前述したように何か1つに打ち込む集中力はたいしたものだが、退職するとそれが無くなったことで、一気に以前の引きこもりに戻ってしまった。1日煙草を吸い続け、不機嫌であった。家では暴君であり続け、母に手を上げ、ちょうど東京外国語大学附属図書館に新採用されたため実家に戻って来た筆者との喧嘩は日常茶飯事であった。

また転機であるが70歳の時、煙草の吸い過ぎと不摂生により、心臓の冠動脈が詰まって6%しか機能しなくなり、

病院で生死の境をさまよった。吉植一族の男子は70歳台で帰幽するので、自分はちょっと早いがお別れだなあと覚悟していた。しかし現代医療は凄い。脚の動脈の移植手術をし

たところ、急激に元気になり周囲を驚かせた。健康になると人間性格も丸くなるものだ。周囲との関係も改善され、筆者も本当に嬉しかったことを覚えている。

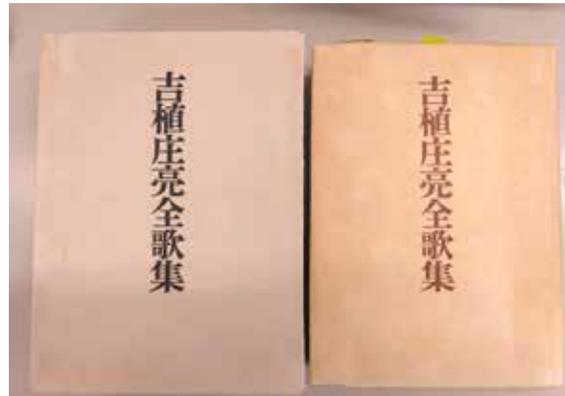
そしてその後19年生きた。令和6(2024)年末に末期がんが意外なところから見つかり、余命半年と言われた。しかし半年後も元気なので、これは90歳の誕生日を過ぎるのではないかと思っていた。しかし11月になり急激に病状が悪化して一気に亡くなった。最後の1年は毎月1度見舞いに行き、最初の頃こそ体をさすったり昔話をしたりしていたが、後半は痛み止めのせいはずっと寝てばかりいた。11月23日に最後の見舞いに行った時に「庄栄、牛乳！」と言うので、下の売店で牛乳を買ってきたが、看護師さんにあげては駄目だと止められて、自分で飲んだ。その後自分は仙台に帰ったが、その3日後の26日午後に母と見舞いに来て

くれた姪御さんに看取られて亡くなった。親父殿に続き自分も死に目に会えなかった。

## 2. まず所感

私の先祖に、吉植庄一郎(1865-1943)と吉植庄亮(1884-1958)の親子が居る。この親子は当初非常に仲が悪かったが、後に和解したと文献にある。どうやら父の庄一郎が様々なことをやりたい放題で家庭を顧みず、挙句の果てには第二夫人をつかって別邸を六本木に構え、異母妹が誕生したのだそう。文学者であった庄亮は、母孝行の観点からこれらの所業を憎み、大変親子仲が険悪だったらしい。その後和解し、政治家であった庄一郎の

地盤を継承し、庄亮は衆議院議員となる。庄亮は歌詠みが本業であり、庄一郎帰幽の際には32首を詠み、以下が最初の歌と『吉植庄亮全歌集』(柏葉書院, 1970, p. 606)にある。



はやすでに現世仏におはすなり この安らぎを願ひまじつる

筆者が言うのもおこがましいが、いい歌だなと思う。父の冥福を慈愛をもって真摯に祈る気持ちが伝わってくる。筆者は親父危篤の知らせを聞き、これから講義があるので死に目には会えないと覚悟して、書棚にあるこの歌集のこのくだりを読みながらこれまでのことに思いを馳せていた。臨終なら親父殿が筆者の上から見ているかもしれない。そう思うと息子が思いにふけている姿を親父殿に見せたかった。で、自分も所感を詠んしてみた。

つひに逝く五十有余の愛憎や うれしくもありさびしくもある

どう考えてもこれであった。正直なところ、やっと逝ってくれた！解放された！という気持ちが半分であった。後半は、愛憎の内の愛、もう会えないのか寂しいな、であった。

大学の講義は約1週間全部休講にして、その翌日、慌てて実家に帰り、実際に亡骸に直面した。非常に緊張した。死に化粧をされ血色が良くなったように見え、今にも起きてきそうだ。「なんで死に目にてめーは来ねーんだ！この冷て一野郎め！！」と怒鳴られるかと思った。そして、正直ほっとしたという気持ちが親父に悟られそうで、崇られるのではないかと思ったからである。それでは、どうしてこのように思ったのであろうか？

### 3. 教師として・反面教師として

筆者は一人息子である。ゆえに人間形成上の両親の影響力は非常に大きい。特に親父殿には、高校1年までの勉強や人生の諸問題を習った。特に小中学生のころは厳しく、ものすごく怖かった。その結果、今の基盤を築いてもらったと言える。しかし高校2年生ころから、内容が高度になったことで親父殿は教えてくれなくなった。その後は、自分で悪戦苦闘し、現在の学習スタイルを自ら構築することとなった。

人生の諸問題について、親父殿から習った様々は振り返ると非常に偏ったものであった。俺の言うようにやれば人生うまく行く、が口癖だったが、これが正しければ親父殿は、全ての事で成功者でなければならない。これを解毒するのに大分時間がかかった。特に両親、特に親父殿から学んだことが認知のゆがみの塊で、これを基準で色々判断することは大変危険であった。そのため、ものすごく時間をかけて自力で自分の核を構築する羽目になった。

筆者は大学で教育哲学を専攻したが、自分の師匠は「この専攻は人間形成を失敗した者が集まる専攻で、正しい人間形成とは何か？を希求するという原動力で研究するのだ。」とよく飲み会で言っていた。まさにその典型例が自分であった。大分悪戦苦闘し、そして様々な方々、諸方面に迷惑を

かけながら人間形成をしていき、現在はなんとか思う所が矩を躓えない社会生活を送れている。

### 4. 自分の中で生きている

生前、親父殿に友達と呼べる人が全く居ないため、葬儀は親族のみで小さく実施した。この葬儀では、兄弟最後に残った一番近い姉、筆者にとっての伯母が1人号泣する中、ほかに泣いている参列者は居ないように見えた。かくいう筆者、そして家内、長く連れ添った母もであった。これまで数々の葬儀に列席し、号泣する参列者を見て筆者はそこまでならないことを申し訳なく思っていた。これが、血がつながった両親であれば、筆者も喪失感で泣くのかと思こんでいた。結果は、全く逆だった。先ほど書いた歌のように53歳にして晴れやかな気分であった。母もそうであったが横暴な人が居なくなって、解放されたという気分それだけであった。これからは残された者で建設的に楽しく生きて行こう、その一心であった。母は親父殿が死んでも怖いのか、それは名言できないようであるが、やはり行動や言動の中にその気分が見受けられた。

しかし親父殿が骨になりしばらくして、それだけでも無いかと思うようになった。簡単に言うと親父殿は筆者を依り代に生きているということである。親父殿の死後、筆者もたまたま横暴になり、周囲を困らせていることに気づいた。筆者は幼少期から親父殿に似て癩癪持ちで、それを後天的に抑えるようにするのが大変であった。今はうまく制御できているものの、泥酔時と非常時がとても危険である。親父殿とお別れしてからしばらくして、お酒を呑んでいる際にあることでイライラしてきたことがあるが、ちょっと時間が経つと親父殿みたいだと思った。このような筆者の中の節々に彼は生きている。その結果、お別れした訳ではないから、全然寂しくない。

### 5. おわりに

まだ昔話ができた時に、ここまで生きてどうだったか？と尋ねたことがある。返事は「ひどい人

生だった。」である。母とも家族が見合いで進めてきて断れなかったから結婚したので、次の人生があるなら絶対結婚しないと言う。それでは筆者は生まれぬ。昭和20(1945)年の東京大空襲では、小学校の同級生が多く亡くなった。10歳で死ぬよりも89歳まで生きたのだ、幸運だったのでは？と聞いたが、やはり「いやあ、ひどかった」とばかりである。あの世で同級生にどんな顔をして会うのだろう。プライドが高く人と比較するから、こうやって苦しむのだな、というのを教えてくれた瞬間でもあった。これも反面教師である。

親父殿は、当初誕生日が戸籍上10月であった。しかし何かを根拠として還暦ごろに12月が正しいと訂正手続きを行った。戦前の昭和10年頃、新生児の誕生日の申告は、非常に適当であったらしい。役所の事務官が、恐らく字を読み取り間違えたのではないかと聞いたことがある。しかし一度決まった戸籍の生年月日を変えるのはなかなか大変で、時間も労力もかかったと言っていたのが記憶に残っている。そして訂正された時、親父殿は非常に喜んでおり、やっと間違っていた人生が正しい道ので始まると言っていたような気がする。その後は皮肉なことに10年の引きこもりであったのだが、今回も皮肉な結果となった。

もし訂正していなければ、満90歳と1か月の人生であった。しかし訂正して12月であるので、89歳と11か月であった。本人にとっての生きた時間は変わるわけではないが、あの努力は何だったのかな、とも思う。

最後に、吉植庄亮の庄一郎死去によせて詠んだ短歌32首の最後は、次のようなものである。

父をわがうちしぬびつつ思へらくいくばくならず  
われも故人

素人解釈ながら「父をしのんでいる私だが、そんなに遠くない内に自分もあの世行き」ということであろうか。庄一郎氏は78歳、庄亮氏は74歳で逝去された。筆者が親父殿と同じ位の年齢まで生きられる保証はなく庄亮氏が教えてくれるように、そんなに遠くない内にお前も終わりだよ、と思う。東日本大震災の時、今度平和になったら悔いなく生きようと強く思ったことは以前書いた。今回も同じことが形を変えて頭に浮かんだのである。そして親父殿を反面教師に、働けなくなるまで働いてこの世に生まれてきた意義を問うて、再会した時に答えを報告できればと思っている。

(よしうえ しょうえい：東北学院大学文学部)

### DMかたろく

## 移民が増えて、いいことって何だろう？

対話と議論にむけた12のキモン

佐藤友則 著

◎2200円

## このクソみたいな社会で“イカれる”賢い女たち

理解されない苦しみ、女性のうつ病

ハ・ミナ 著 ワタリドリ 訳

◎2420円

## 群れから逸れて生きるための自学自習法

向坂くら、柳原浩紀 著

◎1980円

## 無知学への招待

〈知らないこと〉を問い直す

鶴田想人、塚原東吾 編著

◎2970円

**明石書店**

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174 (税込)

# ESTRELA

■2026年2月号  
No.383/2月10日発行  
B5判 64ページ  
定価1,205円(税込)

【特集】デジタルデータ及び社会調査・統計調査の活用

■特集によせて/浅川 達人 (早稲田大学人間科学学術院 教授)

■生成AIを含むデジタルデータの現状と課題：データ駆動から生成社会科学へ/  
笹原 和俊 (東京科学大学 環境・社会理工学院 教授)

■生存情報学が拓く未来—データがつなぐ人と社会のウェルビーイング—/  
橋本 隆子 (千葉商科大学 学長補佐・商経学部長)

■データ分析の2つの世界：社会調査データとデジタルデータの対比を通じて/  
筒井 淳也 (立命館大学 産業社会学部 教授)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階  
TEL: 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>

マイケル・ベイリー／加藤言人・西川賢 監訳

## 社会科学のための 統計分析入門 (上・下)

リサーチにすぐ使える統計テク  
ニック [原書第2版] 各3960円



瀬戸一夫

## ムーミンの哲学 ふたたび

西洋哲学の遺産で読み解かれる9つの  
エピソード。 3300円



**勁草書房** TEL 03-3814-6861 \*価格税込  
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

超ウルトラ実践的かつ理論的で人気の短歌講座がついに書籍化!

## あなたとわたしの 短歌教室 服部真里子

短歌には、タネもしかけもあるので  
今日から変わるあなたの一冊

『あなたとわたしの短歌教室』は、一日一章、  
五日間のレッスン。  
五つの課題をこなすことで、自然に「いい短  
歌=おもしろい短歌」がつかれるようになる  
講座です。



定価1,760円(10%税込)  
2025年12月刊行既刊  
四六判 200頁  
ISBN : 978-4-634-15262-5 C0092



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区区内神田1-13-13 <https://www.yamakawa.co.jp/>

## マネー・マーケット 入門

日本銀行の金融政策と  
短期金融市場

3月中旬刊

服部孝洋 [著]

●定価3080円(税込)  
978-4-535-54128-3

金融政策と金利の理解に必須の  
短期金融市場=マネー・マーケットを、  
国債から読み解く! 予備知識がなくても、  
読み進められるよう実務の視点もふまえて基礎から丁寧に解説。

## 解離ってなんだろう

症例でわかる見立てと対応

古田洋子 [著]

●定価2090円(税込)  
ISBN 978-4-535-56436-7

たくさんの子どもの具体的な症例から、  
誤解されやすい解離の多様な症状を学ぼう。

3月上旬刊



**日本評論社** 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4  
☎03-3987-8621 <https://www.nipponyoko.jp>

## 明治政府と日露関係 権太千島交換 条約とその時代

醍醐龍馬 (大阪大学准教授) 著

今から150年前、日露はいかに国境を  
画定したのか。明治初期日本の対露外  
交の実態を日露英米の史料を用いて明  
らかにする。 A5判 定価 5,720円



## 公共施設の統廃合を合意する

地方自治体の取組とその効果

柳 至 (立命館大学教授) 著

どのようなときに住民は統廃合を受け入る  
のか。住民参加の重要性、そうした取組が  
人々の統廃合への賛否にどう影響を与えるの  
かを実証的に解明する。 A5判 定価 4,290円



**有斐閣** 東京都千代田区神田神保町2-17 価格税込  
<https://www.yuhikaku.co.jp/>

## Asian Wind

- アジアと日本、そして世界を繋ぐ「風」のように -

NO.3 2026 Winter

### — Asian Wind —

- 中国映画10年の道のり—2016~2025年
- サモサ(インド)
- 1901Cafe
- 漫画「スラムダンク」
- 親しんだ親世代
- アジアの本棚『雪を待つ』
- 近代都市空間と景観の形成
- 済州島の世界遺産 漢拏山

### — 亜州之风 —

- 中国電影十年的道路  
—2016~2025年
- 南部煎餅
- 质性数据分析方法与教师的反思
- 日本の书架《現代日本の开化》  
读后
- 撼动美国人心的“大谷桑”!
- 济州岛的世界遗产 汉拿山

一般財団法人 霞山会 (文化事業部)

〒107-0052 東京都港区赤坂2-1-7-4 7  
電話:03-5575-6301 / FAX:03-5575-6306  
<https://www.kazankai.org/>



鎌田安里紗

マルティンメンド  
有加

2090円

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11  
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>